

育心

校長 近藤 幸栄

春のやわらかな風が感じられる季節となりました。校庭に桜咲く春がもうそこまで来ていることを感じさせます。

二葉小学校の正門脇に「育心」の碑があります。また、児童玄関の上にも、「育心」の額が掲げられています。読んで字のごとく、「心を育む」ということです。

ただ、この「育心」は、徳育的な「心を育てる」だけでなく、知育的な「主体的に学ぶ心」、体育的な「あきらめずやり抜く心」など、全てを包括しているのかもしれませんが。

62年前の二葉小学校開校時から、「努力する心、感謝する心、自分を律する心・・・」。『心を育てる』ことによって、学力や体力の向上を図る」と考え、二葉小学校の教育の中心に据えたことに感銘を覚えます。是非、ご来校の際には、気に掛けて見てみてください。

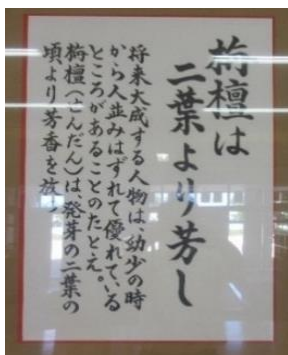


校門脇の「育心」の碑



児童玄関に掲げられている額

これらは、ともに昭和43年 中井小学校と島塚小学校の統合記念として書いていただいたもののようです。「育心の碑」の字は、新発田市川東に生まれ、新潟市長や参議院議員などを歴任された小柳牧衛氏によるもの。「育心の額」の字は、村上市出身で、衆議院議員、文部大臣、法務大臣なども務めた稲葉修氏によるものです。



また、話は変わりますが、児童玄関を入ると正面に、教育目標とともに、「梅檀は、二葉より芳し」という額が掲げられています。本来は「双葉」であったものを、「二葉」の標記にしたようです。

「梅檀は双葉より芳し」は、「せんだんはふたばよりかんばし」と読み、意味は「大成する人は幼少の時から優れている」という意味です。「成木となって芳しい香りを放つ梅檀（白檀）は、双葉の頃から既に良い香りを放っている」ということとなります。つまり、「大成する人は幼少の時から優れている」という意味があるようです。こちらも、ご来校の際には、是非見てみて下さい。

保護者・地域の皆様には、今年度も一年間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。子どもたちが安心して学校生活を送ることができたのは、皆様の支えがあったからです。子どもたち一人ひとりが次のステージで輝けるように、職員一同、引き続き支えてまいります。一年間本当にありがとうございました。